

Fumito Nunoya Benyamin Nuss

布谷史人 & ベンヤミン・ヌス

マリンバ・ピアノ・デュオ・リサイタル

Marimba
& Piano
Duo Recital

Program

ベンヤミン・ヌス
マリンバとピアノの為のソナタ Op. 20
Sonata for Marimba and Piano Op. 20 / Benyamin Nuss

浜渦正志 (世界初演)

Opus 10

Opus 10 / Masashi Hamauzu (World Premiere)

小椋佳 (村上ゆき編曲)

愛燦燦

Love falls brilliantly (Ai Sansan) / Kei Ogura (arr. Yuki Murakami)

山田耕筰 (渡辺俊幸編曲)

赤とんぼ

Red Dragonfly (Akatombo) / Kosaku Yamada (arr. Toshiyuki Watanabe)

ベンヤミン・ヌス, 布谷史人

父へ (“遠いあの日に”の主題による)

Dear Father (based on the theme of “On that far away day”)
/ Benyamin Nuss, Fumito Nunoya

他

ふるさと

2025

9/13 Sat.

開演18:00 (開場17:30)

ほくしか鹿鳴ホール

(大館市民文化会館) 大ホール

料金
(当日500円増)

一般
3,000円

学生
1,000円

親子ペア券
3,500円

チケットお取り扱い

■ 大館市

ほくしか鹿鳴ホール 0186-49-7066
(大館市民文化会館)

いとく大館ショッピングセンター 0186-49-1717

ゆうフォート 0186-49-0011

■ 鹿角市

鹿角市文化の杜交流館・コモッセ 0186-30-1504

■ 北秋田市 北秋田市文化会館 0186-62-3311

■ 能代市 能代市文化会館 0185-54-8141

※全席自由席となります。 ※演奏中の写真撮影、録音、ビデオ撮影は固くお断りいたします。
※一部、曲目が変更になる場合があります。ご了承ください。

Fumito Nunoya & Benjamin Nuss



ベンヤミン・ヌス(ピアノ)と布谷史人(マリンバ)によるデュオとしての活動は2016年から始まり、その後ドイツ国内と日本において精力的に演奏活動を繰り広げている。Hildesheimer Allgemeine Zeitungでは「...この2人のデュオは無敵だ...」、そしてRheinische Postでは「...情熱的で、希望に満ち、感動的な...」デュオと、そしてSüddeutsche Zeitungにおいては二人のコンサートが「花火のような一夜だった」と称賛される。レパートリーはクラシック音楽からピアソラの音楽など多岐にわたり、このデュオの為への作品も委嘱しながら、幅広い音楽と自在な表現で聴衆を魅了し続けている。2022年9月にドイツのCDレーベル“Mons Records”からリリースされ、2025年9月にはドイツのCDレーベル“Berlin Classics”よりCD「Heimatstückふるさと」がリリースされる。

マリンバ | 布谷史人 Fumito Nunoya

ヒューストン新聞において「黒い衣装をまとった布谷史人は、人を磁石のようにひきつけ、離さなかった。」、ドイツのKlassik Heute!においては「布谷氏のマリンバは歌う」と絶賛され、彼の叙情性と深い音楽表現は国際的に活躍するマリンバ奏者の一人として高い評価を得ている。アメリカでのIma Hogg コンクール1位、イタリアでの第3回リベルタンゴ国際音楽コンクール優勝、ドイツでの第3回世界マリンバ・コンクール3位ほか、様々なコンクールで受賞多数。これまでに5枚のCDをリリースしており、2019年2月にリリースした最新作「マリンバの為の協奏曲集」はヨーロッパ各地のラジオ局で取り上げられ、ベルギーのKlassiek Centraalからは「Gouden Label」賞を、BBCミュージック・マガジンでは最高点となる5つ星を受賞し、更にはドイツ・ルフトハンザ航空のフライト・エンターテインメントにも採用された。現在はドイツ国立デトモルト音楽大学のマリンバ講師として後進の指導にあたりながら、Adamsマリンバ専属アーティストとして国際的な演奏活動を展開しており、また彼の地元秋田県大館市の観光大使も務めている。また2024年6月にはドイツのCDレーベル「Ars Produktion」よりマリンバ・ソロ・アルバム「Marimba Prayers(祈り)」をリリースした。

ピアノ | ベンヤミン・ヌス Benjamin Nuss

1989年ドイツに生まれる。ケルン音楽大学でイリヤ・シェプス教授のもとで研鑽を積み、ソリストとしてロンドン交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団、ゲヴァントハウス管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演した。ドイツのJugend Musiziert、Steinwayコンクール、国際コンクール「Prixd' Amadéo dePiano」において1位を受賞し、「Best Of NRW」に選ばれ、ドイツ各地でコンサートツアーを行った。クラシック音楽のほか、特にゲーム音楽の分野において活動の場を広げ、ドイツ・グラモフォンから、デビューアルバム「Benjamin Nuss plays Uematsu」をリリース。これはRPGゲーム「ファイナル・ファンタジー」シリーズで音楽を手がけた植松伸夫氏の作品を集めたアルバムで、世界中から熱狂的な支持を集める。その後、セカンドアルバム「EXOTICA」を再びドイツ・グラモフォンから、2019年2月にはドイツのNeue Meisterレーベルよりゲーム音楽を集めた「ファンタジー・ワールド」をリリースし、2022年8月には同レーベルからアメリカ人作曲家でピアニストのFrederic Rzewskiの作品を収録した「Unite!」がリリースされた。

Marimba & Piano Duo Recital "Heim." *Heim.*